



おしらせ

2024年10月4日

桜ヶ丘第一保育園
☎ 042-374-3098
FAX 042-374-2828
URL kodama-kai.org

9/27・28 年長お泊り会 24名全員参加、楽しかったね！！


9/27（金）・28（土）に年長のお泊り会を行いました。
今年、年長たちが話し合いをして、やりたいことを出し合い、
多摩動物公園に行ったり、手作りのピザをつくって食べたり、
夜のお楽しみで、花火をしたりを計画して行いました。あいにく前



日からの雨予報で、多摩動物公園には行けませんでした。児童館に行き遊んだり、手作りピザの夕食でみんなで食べたり、花火をしたり・・・2日間、大きなケガもなく（途中2名発熱で帰宅しましたが）、楽しい時間を過ごすことができました。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



10/12（土）さくさくまつり開催！！



保護者の会と園との共催の“さくさくまつり”。卒園したOB保護者や卒園児、そして在園の皆さんとも楽しく過ごせる機会です。
日頃できない職員との交流も含め、楽しい時間を・・・みなさんご家族そろってどうぞ！
今年、食べ物や雑貨販売など、昨年より増やしています。お楽しみに～！！


～新しいお友達の紹介～

つぼみ:Fさん どんぐり:Aさん
つくし:Hさん すみれ:Tさん
10月から、どうぞ、よろしく！！

～9月末退園のお友達～

つぼみ:Mさん
すみれ:Iさん
元気でね!! ♪さよなら あんころもち また きなこ♪

10月生まれのお友達



紙面には、名前が掲載されています。
おめでとう！！

～10月の日程～

2日(水)0歳児体験保育	*10/7～10/11 どんぐり参観
4日(金) つぼみ・ふたば懇談会	*10/15～10/25 たんぽぽ参観
体験保育(1歳児以上～)	*10/16～10/25 すみれ参観
10日(木)全園児健診	*10/28～11/1 つぼみ参観
11日(金)避難訓練	
12日(土) さくさくまつり 10:30～13:00	
22日(火)交通安全教室(年長) ○職場体験 10/29・30・31(和田中2名)	

10/15～10/28 東京家政学院の保育実習生1名入ります。よろしく！

10月は参観を予定しています。日頃の様子をぜひご覧ください。

保育士の
配置基準
労働条件

すべての年齢でさらなる改善を!

4・5歳児の保育士配置基準が76年振りに30:1から25:1に改善されましたが、まだまだ不十分です。国際的に見ても貧しいままであることに変わりはなく、すべての年齢において配置基準の引き上げが必要です。



4・5歳児の保育士配置基準 国際比較

日本	フランス (パリ市)	スウェーデン (ストックホルム市)
25:1 (30:1も可)	15:1	18:3 (実質6:1)

保育士の賃金と 労働条件の引き上げを!

低すぎる保育士の給与
月給での比較(2023年)

31万
8,300円
全職種

26万
4,400円
保育士

出典:令和5年賃金構造基本統計調査

保育士の賃金は全産業平均より5万円も低く、子どもの命を守り発達を保障する高度な専門性に見合っていない。保育士不足も深刻です。

子どものために、保育士が安心して働き続けられる賃金と労働条件の大幅な引き上げを求めます。

日本を子育て しやすい国に



日本は、子育てがしづらい国になっています。こうした現状を変え、だれもが安心して子どもを生み育て、ゆとりある生活ができるようにするためには、労働時間を短縮し、賃金を引き上げるなど、すべての働く人たちの状況を改善することが必要です。

だれもが安心できる 子育て支援施策を

すべての子育て支援施策は子どもの権利保障を最優先に実施されるべきであり、公的責任を明確にしたうえで、条件整備をすすめるなど、抜本的な拡充が必要です。

自国は子育てしやすい国だと思うか?

日本では「そう思わない」が約6割!



こども誰でも通園制度って何?

新たな子育て支援施策として、6カ月～2歳児の未就園児を月10時間まで預けることができる「こども誰でも通園制度」の試行的事業が、一部自治体で始まっています。子どもの命と安全、在園児への影響、保育者の負担増、責任の所在など、不安の声があるにもかかわらず、国は2026年度から全自治体での本格実施を強行しようとしています。

(全国保育団体連絡会署名より抜粋)

紙上情勢学習会～第1弾～

毎年、三者懇主催で学習会を行っていますが、最近保育情勢のテーマを扱った学習会ではないので、この紙面を借りて、現在の保育の置かれている現状を保護者の皆さんにも知ってもらいたく、お伝えできればと思います。上の資料は、署名の為の説明で書かれている情報をピックアップして掲載しました。今年、戦後76年ぶりに、幼児の職員配置基準が、4・5歳児30:1から25:1に改正されましたが、現場の私たちにとっては特に変わりはありません。桜ヶ丘第一保育園では、幼児クラスの子ども24名に対して2名の担任です。すでに国基準以上に配置しており、国基準では、到底子ども達を安全・安心な保育が出来ません。処遇改善もなかなか進まず、保育士になりたくても給与が低いことで、保育士になる選択をあきらめる学生が増えてきて、人材確保も難しいのが現状です。

この間、『もう一人保育士を』の運動が、愛知の保育園に通わせる保護者から始まり、現在全国的に展開されています。もっともっと、子ども達とゆったりした環境の中で遊び込める環境にするには、今の国基準では保育士1人が観る人数が多すぎます。保育はどんなにAIやICTが発達しても、人の心を育てる仕事なので、“人”にしできません。第2弾では、そんなところに焦点を当ててお伝えします。